

# みなさんの身近に役立つ日本共産党

——日本共産党の立党の精神は、国民の苦難を解決するため全力をあげることです——

## 伊佐沼の改修は県事業で

伊佐沼の水質改善を日本共産党は提案してきましたが、このほど県事業として地元の見を聞いて改修計画をつくることに。本格的な改修が進み、市の負担も少なくなりました。

## 子育て支援

### 病後時保育・妊婦無料健診拡大 保育園の待機児対策・少人数学級

今年、病後児保育が実施されます。働きながら子育てしている人たちの声を実現。また、無料で受けられる妊婦健診が5回に拡大。日本共産党は、子育て支援の充実を求めて署名活動や議会内外で要請していました。

## 市民体育館跡地を早く駐車場に

税金の申告時期や休日の観光客などで市役所前の道路は大渋滞をしています。日本共産党は、市民体育館跡地を臨時駐車場に開放して渋滞解消を提案、四月から実施されます。

## 特定健診は無料に

従来の基本健康診査は廃止され、生活習慣病予防のため健康診査がはじまります。市の

国民健康保険加入者と75歳以上の後期高齢者に無料で実施します。党も要求していました。

## 学校の雨漏り対策・耐震改修促進

大東東小の雨漏り対策や二〇校の小中学校体育館の耐震診断調査（校舎は完了）川越第一中の体育館や今成小の校舎などの耐震診断設計委託料が計上されました。

## 地球温暖化対策地域推進計画

日本共産党議員団がいち早く条例化を求め、全国で三番目の条例制定になりました。

## 耐震診断

市内の個人住宅の耐震診断へ、一部補助がおこなわれます。

## 暖房費を補助

川越市は、今年三月末日まで緊急に、生活保護者、ひとり親世帯、障害者世帯、七五歳以上の高齢者世帯を対象に三千円の暖房費の補助実施しました。

日本共産党議員団は一月初めに原油の高騰で灯油が昨年の二倍近く値上がりしている。緊急に、低所得者などに対策を行うべきだと舟橋市長に申し入れていました。  
“本当に助かります”との声が寄せられています。



今年1月、市長に緊急要請をおこなう長沼ちね衆院埼玉七区国政対策委員長と4名の党市議員

## やりたい人を応援する農政を

# 川越市の食糧自給率は11%!

食品偽装や穀物の高騰など食品不安のニュースが日々取上げられています。一方、農業の現場を見ると日本の食糧自給率は39%、川越市ではなんと11%という深刻な状況にあります。

市内の農地は平成7年から比較して952ヘクタール（26・4%）も減少、65歳以上の従事者が36%、小規模農

家や高齢者が市の農業を支えています。

こうしたなか、農産物直売所が平成17年に芳野地区、平成19年に福原地区に開設し、新鮮な野菜が評価され、今まで販売をしていなかった農家も参加するなど、取り組みが広がっています。

日本共産党は深刻な食料と農業の危機のもと、「食料自

給率の向上を真剣にめざし、安心して農業にはげめる農政への転換を」と農業再生プランを発表しました。

今議会会の一般質問では、食の安全安心に関心が高まる今こそ、直売所など評価されている取り組みを広げ、やりたい人を応援する農政を進めるべきと提案しました。



## 名細統合公民館建設へ

名細地区統合公民館の建設が動き出します。導入機能は、講演会や発表会、レクリエーション実習など様々な利用に対応できる多目的室、幼児トイレや授乳室、親子で安心して利用できるプレイルームがあります。

建設予定地は、旧名細北小跡地（小堤662-1）、敷地面積は5983・98㎡、二階建てで、総床面積は1600㎡となっています。

統合される下広谷南公民館は老朽化しており、コミュニティ施設など、地域の様々な人たちが便利に使える施設が求められています。

## 日本共産党

# 市議会議員 かきた有一

## 市議会報告

発行 日本共産党議員団  
連絡先 川越市役所 日本共産党議員団控室  
電話 224-8811（内線3636）  
ホームページ <http://www.jcp-kawagoe.jp/>

市政・生活相談 ～お気軽にご相談下さい～

自宅 川越市小堤306番地5 電話 233-8369

FAX 020-4669-8696 E-Mail mail@kakita.ac

2008年No.2